

## 臨床研究「術前造影 CT と長期持続性心房細動に対するカテーテルアブレーション後の急性期誘発抑制効果の関連についての研究」について

東京心臓不整脈病院では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

### ① 研究の目的

本研究の目的は、長期持続性心房細動に対するカテーテルアブレーションを受けた症例において、アブレーション直後の心房細動誘発試験の結果と術前 CT 検査における左心房評価（左心房径、左心房容積変化率など）の関連を検討することです。もしアブレーション前の CT 結果からアブレーション後の心房細動誘発抑制効果が推察できるならば、長期持続性心房細動に対するカテーテルアブレーションの適応決定の要因になりうる可能性があります。

### ② 研究対象者

2023 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までに当院で長期持続性心房細動に対するカテーテルアブレーション治療を受けた患者様で、術前に造影 CT 検査を受けている方。

### ③ 研究期間：倫理審査委員会・理事長承認後～2026 年 12 月 31 日まで

### ③ 研究の方法

カテーテルアブレーション後の誘発試験で心房細動が誘発された方と誘発されなかった方で、造影 CT 検査の結果に差がないかを検討します。

### ④ 試料・情報の項目

診療記録（年齢、性別、体重、身長、基礎心疾患、心房細動罹患期間、心不全歴など）、造影 CT、アブレーション後誘発試験、血液検査結果、ホルター心電図結果など

### ⑥ 試料・情報の第三者への提供について

他の機関へ情報や試料が提供されることはありません。

### ⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

東京心臓不整脈病院 理事長 鶴野起久也

### ⑧ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

### ⑨ 利益相反に関すること

当研究には治療に関係した企業と利益相反状態にある研究者が存在しますが、該当者は治療における主治医や術者にあたり、本研究におけるデータの解析には関与いたしません。

また、研究者の利益相反は当院の利益相反委員会および臨床研究倫理審査委員会で審査の上、適切に管理されております。

⑩ 問い合わせ連絡先

東京心臓不整脈病院：〒132-0035 東京都江戸川区平井 3 - 25 - 17

所属・担当者名： 放射線科 五十嵐大介

電話 03-3638-2301 （平日 9～17 時）